

新潟県が行っている介護人材確保のための事業の一部をご紹介します



1 介護事業所職場体験事業

介護事業所への見学バスツアーや職場体験を通じ、職場の雰囲気、介護職と利用者のふれあいなど現場でしか知ることのできない貴重な体験ができます。

連絡先 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
☎025-281-5525



2 第4回介護技術コンテスト

介護職が日頃の業務で身に付けた介護技術を発表し、その技術や専門性を競うことにより介護技術の向上を図るとともに「介護の魅力」を県民に伝えるためのコンテストです。普段なかなか見ることのできないプロの技術をご覧ください。

連絡先 公益社団法人 新潟県介護福祉士会
☎025-281-5531



福祉・介護・健康フェア内で開催します。ぜひお越しください!



3 介護事業所等の紹介動画作成支援事業

インターネットを活用して、介護の魅力や事業所の魅力を伝える動画を制作・配信する事業の補助を行っています。制作が終わった動画は新潟県や各事業所のホームページで公開しておりますのでご覧ください。

連絡先 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 介護人材確保係
☎025-280-5272



その他の情報は新潟県のホームページをご覧ください。 <http://www.pref.niigata.lg.jp>



みんなで学ぼう、考えよう、支え合いの社会を目指して。

●パンフレットの内容に関するお問い合わせは



〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階
TEL.025-281-5531 E-mail kaigo@sage.ocn.ne.jp
URL www.kaigo-niigata.or.jp



平成31年度版

みんなで学ぶ、考える、 「介護」のこと

「介護」について、みなさんはどんなイメージを持っていますか？

家族に高齢者がいる人は、身近なことかもしれません。

しかし今、家族に高齢者がいなくても、どんなに健康な人にとっても、

いつかは関わることになる、大切なことなのです。

みんなで「介護」のことを、しっかり考えていきましょう。



**2025年には、
新潟県内の介護人材が
約4,700人不足する！**

厚生労働省は2025年に、
介護人材が全国で約37.7万人、
新潟県では約4,700人不足するとの
予測を発表しています。



出典：厚生労働省
[2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)について]

**2025年には、
新潟県内の高齢者の
割合が34.3%になる！**

新潟県の発表では2025年の
高齢者の割合の全国平均は30.3%です。
全国と比較すると新潟県は高齢化が
進んでいる県になっていきます。



出典：新潟県福祉保健部福祉課
[高齢者の現況 平成27年10月1日現在]

**2025年には、
現役世代1.8人で1人の
高齢者を支える**

財務省の発表では2025年には65歳以上の
人口が約3,657万人となり、65歳以上の方
1人の介護・医療費などの社会保障費を
20歳から64歳の方1.8人が支えること
になると推計されています。



出典：財務省 ホームページ
[2025年、高齢者一人を現役何人で支える?]

学ぼう **そもそも「介護」ってなんだろう**

「介護」とは、日常生活に不自由がある高齢者や障がいのある人、
病気の人などの、身の回りの支援をすることを言います。
思いやりや元気になってもらいたいという
いたわりの気持ちがあれば、誰にでもできることです。
もっと、介護のことを学んでみよう。



高齢者の体は私たちとはちがう

歳をとると、身体のいろいろなところに痛みがでてきたり、筋肉が衰えたりします。
具体的にはどのような変化があるのか見てみましょう。

耳 耳が聞こえにくくなる
音がぼやけて聞こえたり、とぎれて聞こえたりします。

目 目が見えにくくなる
物がぼやけて見えたり、視野が狭くなるので、足元が見えなくて物にぶつかりやすくなります。

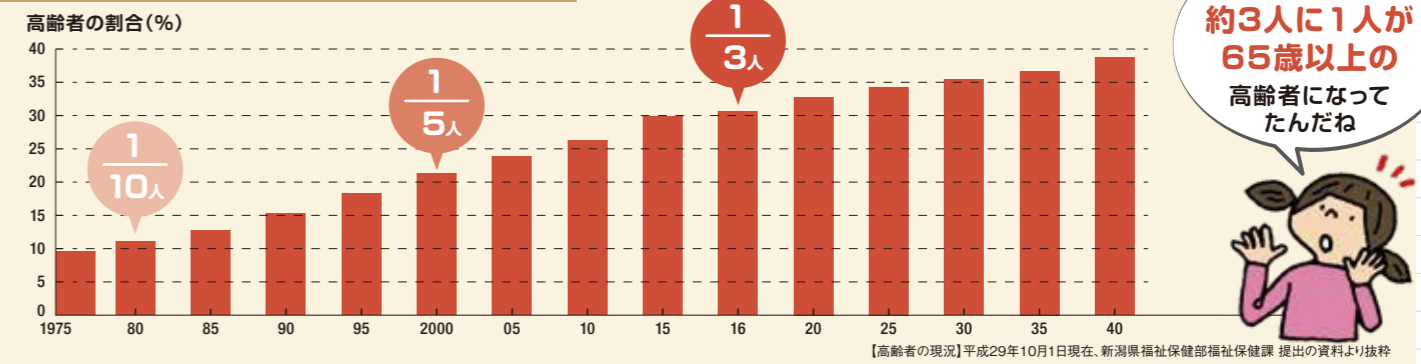
足腰 足腰が弱くなる
筋肉が落ち、骨が弱くなります。ひざなどの関節がかたくなり、動作がゆっくりになります。小さな段差でつまずいたりすることがあります。

口 食べる力が弱くなる
ものを食べるために必要な「かむ力」や「飲み込む力」が衰えることになり、低栄養につながることもあります。

※症状(しょうじょう)によって個人差(こじんさ)があります。

認知症とは
認知症は、いろいろな原因で脳の働きが悪くなり、日常生活に支障をきたす状態です。認知症になると、記憶力や理解力、判断力が低下します。同じものを何度も買ってきたり、家の近くで迷ったり、それまで当たり前でできていたことができなくなってしまいます。しかし、認知症になると何もわからなくなるわけではありません。自分の身体に起こっている変化に気づき、不安になっているのです。

新潟県の高齢化の今、将来どうなるの？



「介護職」の仕事とは何か

介護職とは、介護が必要になった人に対して、その人の能力に応じた介助をすることにより、自立した日常生活を送ることができるように支援する仕事です。食事や入浴といった身の回りの介助から、心のケアまで幅広く行い、介護を受ける人の人間としての尊厳を守り、いきいきとした毎日を過ごせるようにサポートします。

介護をとりまく主な職種



介護職(介護福祉士等)

サービス利用者の毎日を最も近い立場で支える「介護職」。一人ひとりの健康状態や様子の変化を見逃さずに、申し送りや報告を怠らない。安心と安全を多職種に繋ぐ大切な役割を持ったスタッフです。

- 身体介護 ●生活のサポート
- メンタルケア ●相談や指導、助言 など



生活相談員(社会福祉士等)

サービスを利用したり、入所をしたいといった本人や家族の要望を最初にキャッチするのがこの「生活相談員」。施設内容の説明や、見学対応をしたり、利用者の日常生活の困りごとや悩みを親身に聞き、一人ひとりのニーズに対応できるように支援をする。全スタッフの要の存在です。

- 本人・家族との相談業務
- 地域との連携・調整業務 など



介護支援専門員(ケアマネージャー)

介護サービスの利用時において最も頼りになるのが「介護支援専門員」。高齢者の生活ニーズ・介護ニーズに応えるべく親身な聞き取りを行い、その人に合った「ケアプラン」を作成。あらゆる介護サービス事業と高齢者を繋ぐ役目があります。

- 要介護認定の書類作成代行
- ケアプランの作成 ●モニタリング など

様々な角度から支える介護職



介護職は、高齢者の体や生活について、詳しい知識と技術を身につけた職業です。介護を受ける人、一人ひとりの能力に合わせた日常生活の支援はもちろん、本人や家族が抱える悩み事を聞いたり、相談にのったりしながら体と心のケアを行います。強い信頼関係で結ばれた、とても頼りになる存在です。

介護職はこんなところで働いています



介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

自分の家で生活することが難しくなった高齢者のための施設です。

- 食事、入浴、排泄などの介助
- 健康管理やリハビリ など



通所介護(デイサービス)

自分の家で生活する高齢者が日帰りで通う施設です。

- 食事、入浴、排泄などの介助
- 健康管理やリハビリ など



訪問介護(ホームヘルプサービス)

高齢者の家で日常生活の支援をします。

- 通院時の車の乗り降りの介助
- 食事、入浴、排泄などの介助
- そうじや洗たくの介助 など



特別養護老人ホーム(施設系サービス)



もう一つの「わが家」のような存在

特別養護老人ホームでは、日常生活に介助が必要な方で、食事、入浴、排泄などの介助、その他日常生活の支援、機能訓練、健康管理等がサービス提供されます。65歳以上の要介護3以上の方または、40歳以上の特定疾病に認定された方であれば利用できます。施設の介護支援専門員(ケアマネージャー)が施設内の各専門職と連携し、本人・家族の要望をふまえた施設サービス計画を作成し、その内容を本人・家族に説明、同意のもとサービスが提供されます。

サービスの種類と活躍の場

介護には大きく分けて2つの種類があります。施設で生活する高齢者に対して日常生活の支援をする「施設サービス」と、自宅で生活する高齢者に対して日常生活を支援する「在宅サービス」です。

介護職が行う介護サービスは多岐にわたります。趣味・社会参加・健康増進・健康医療・住宅関連・福祉用具関連やその他様々な分野で活躍し、高齢者の生活を支援します。



笑顔と楽しい交流の場、日帰り入浴もできます

デイサービスは在宅で生活している高齢者が、一人で入浴や外出ができなくなり、困りごとが多くなった時に日帰りで利用できる施設です。行き帰りの送迎もします。食事や入浴など日常生活の介助や機能訓練を受けることができ、色々な方との交流やレクリエーションを楽しむこともできます。そして利用時には体調確認も行います。自宅での生活が続けられるような支援を楽しく受けることができます。



デイサービス(在宅系サービス)



知ろう 実際どうなんですか？「介護業界」

介護が必要な方の生活を豊かにする仕事として、とてもやりがいのある介護職。一方で大変そうなイメージもあるのですが、実際のところどうなのでしょう？そこで介護業界で働く人へのアンケート調査から、素朴な疑問を調べてみました。

Q1
人の役に立つ仕事を選びたい。やりがいを感ぜられますか？

A 介護職に就く半数以上が「働きがいのある仕事」と答えています。

現在の仕事を選んだ理由は

働きがいがある仕事だと思ったから	資格・技能が活かせるから	今後もニーズが高まる仕事だから	社会の役に立ちたいから	お年寄りが好きだから
52.2%	35.8%	34.1%	31.8%	24.1%

介護労働者を対象にした調査において「この仕事を選んだ理由」の回答は、「働きがいのある仕事だと思ったから」が52.2%でトップ。やりがいを感ぜながら働きたい人が活躍できる職業です。

Q2
夜勤が多いと聞きますが、勤務形態を知りたいです。

A 夜勤はありますが、基本的に4週8休です。

入所型施設は「4交替制のシフト勤務」が多く、早番・日勤・遅番・夜勤の4交替シフトが代表的です。夜勤明けは休日したり、翌々日の出勤時間を遅らせるなどの調整を行う施設も多いです。通所型施設は日勤のみが大半です。
※勤務時間は事業所によっても変わり、雇用形態(正規職員・パートタイマー等)によっても異なります。

Q3
できるだけ残業はない方がいいです。実際どうでしょう？

A 介護職の約半分が「残業なし」と答えています。

1週間の残業時間の平均を調べたところ、「なし」と答えた介護職は約半分でした。「自分の時間がとりやすい」のも介護職の特徴かもしれません。

Q4
お休みはどのくらいとれるの？

A 新潟県の医療福祉産業の平均休日数は年間「114.4日」。新潟県の全産業(106.0日)と比べ、年間8日多いです。

介護職の平均年間休日数及び時間外勤務数

		年間休日数(日)	一人あたり月間所定外労働時間(時間)
全国	全産業	108.3	12.7
	医療・福祉	110.8	5.9
新潟県	全産業	106.0	12.4
	医療・福祉	114.4	8.1

Q5
介護業界って年配の人が多いイメージだけど…。

A そんなことはありません。介護職の約3割が34歳以下です。

介護業界全体の平均年齢は45.1歳。しかし介護業界で働く人のうち23.3%、介護職に絞ると32.4%が、34歳以下の若手。若い人の割合も高いんです。職場でも同年代の仲間ができるはずですよ。

※1 出典:介護のお仕事・求人就業スタイル「ホームページ」 ※2 出典:(公財)介護労働安定センター「平成24年度 介護労働実態調査」
※3 出典:年間休日数=全国「平成29年就業条件総合調査(厚生労働省)」・新潟県「新潟県賃金労働時間等実態調査(県労政雇用課)」・所定外労働時間=労働統計年報(平成28年)(厚生労働省)



介護老人保健施設
さくら苑で働く
神田慎二さんに
お話をうかがいました。



子供の頃の遊び場だった ことがきっかけで。

もともとは母が看護師だったので、小さい時から病院に連れて行かれて待合室でよく遊んでいました。その病院はお年寄りが多い病院でしたが、周囲のお年寄りに褒めてもらったり、可愛がってもらったりするのがすごく嬉しくて、将来の仕事を考えるときに、自然に「お年寄りの役に立つ仕事に就きたい」と考えるようになっていました。



毎日が充実しています！

今は介護の副主任として働いています。介護の現場で働くだけでなく、新人職員の指導もしています。もちろん

夜勤もしています。以前は生活相談員や小規模多機能型の施設で立ち上げの管理者をしており、事務方の仕事が多かったです。でも、書類を作るより、現場で利用者さんに寄り添いながら仕事がしたいと思い、介護職として働いています。やはり利用者さんと直接触れ合うのは毎日楽しいです。

よい介護って なんだろう？

「利用者さんのためによい介護がしたい」と口ではいくらでも言えますが、実際にやってみると中々できないことも多いです。人間それぞれ違うのが当たり前なので、介護の方法も答えがありません。

仲間と力をあわせて。

介護職はそれぞれが利用者さんに対しての熱い想いや「こう介護をしていきたい」というような気持ちを持っていると思います。その意見をまとめて利用者さんへのケアに反映させますが、職員もみんな言う

ことが違います。どれが正解というのはありませんので、それがやりがいでもあり、大変なところであると思います。

利用者さんも 介護職も 笑顔にしたい。



「今までは利用者さんに喜んでもらえればいいのか」と思っていました。今後の目標としては、利用者さんだけでなく、介護職も楽しく働いてもらいたいと思っています。そのため介護の仕事

をしていて楽しかったことや、やりがいなどを持ち寄って、みんなで話ができる機会を作っていけたら良いと思います。



特別養護老人ホーム
桜井の里で働く
山崎恵美さんに
お話をうかがいました。



職場体験がすごく楽しくて。

介護職を目指したのは、中学の頃に介護施設の職場体験を経験したことがきっかけです。通っていた総合学科の学校の授業で老人ホームを1ヶ月に1回くらいのペースで訪問していました。その時がすごく楽しくて、そこから介護の仕事を目指そうと思いました。短大で「介護福祉コースが良い」と親に伝えた時に、「普通科がいいんじゃないの?」と言われました。介護職はお給料が安いとかそういうイメージがあったそうです。でも結局は、自分の希望をそのまま通し、介護のコースに進みました。介護の仕事に就いた今は親も応援してくれています。

今は現場が一番！

今は介護福祉士として特別養護老人ホームで介護の仕事をしています。学校を卒業してから今の職場に入って6年目になります。今年はユニットリーダー研修を受ける予定です。

ケアマネージャーの試験なども受けていますが、やはり今は介護の現場で利用者さんと関わることができる仕事がしたいです。

利用者さんに元気を もらっています。

利用者さんに「今日はあなた、いたんだね」や「会えてよかった。あなたに話したいことがあったんだ」と私を頼りにしてもらいすごく嬉しいです。私は声が大きいので、「あなたの声が聞こえたからすぐわかったわ」と言ってくださいます。仕事で失敗して先輩に指導を受けた時、利用者さんに慰めてもらうことが多くて、すごく嬉しく感じます。

やっぱり人に寄り添う 仕事だ！って実感します。

利用者さんのためにお手伝いしようと思っても、それが嫌な方もいらっしゃいます。「自分でやるからいい」と言

われてしまうこともあるので、その判断が難しいと思います。その分最後に「ありがとう」と言ってもらえると、格別に嬉しいです。

教わる側から教える側へ。

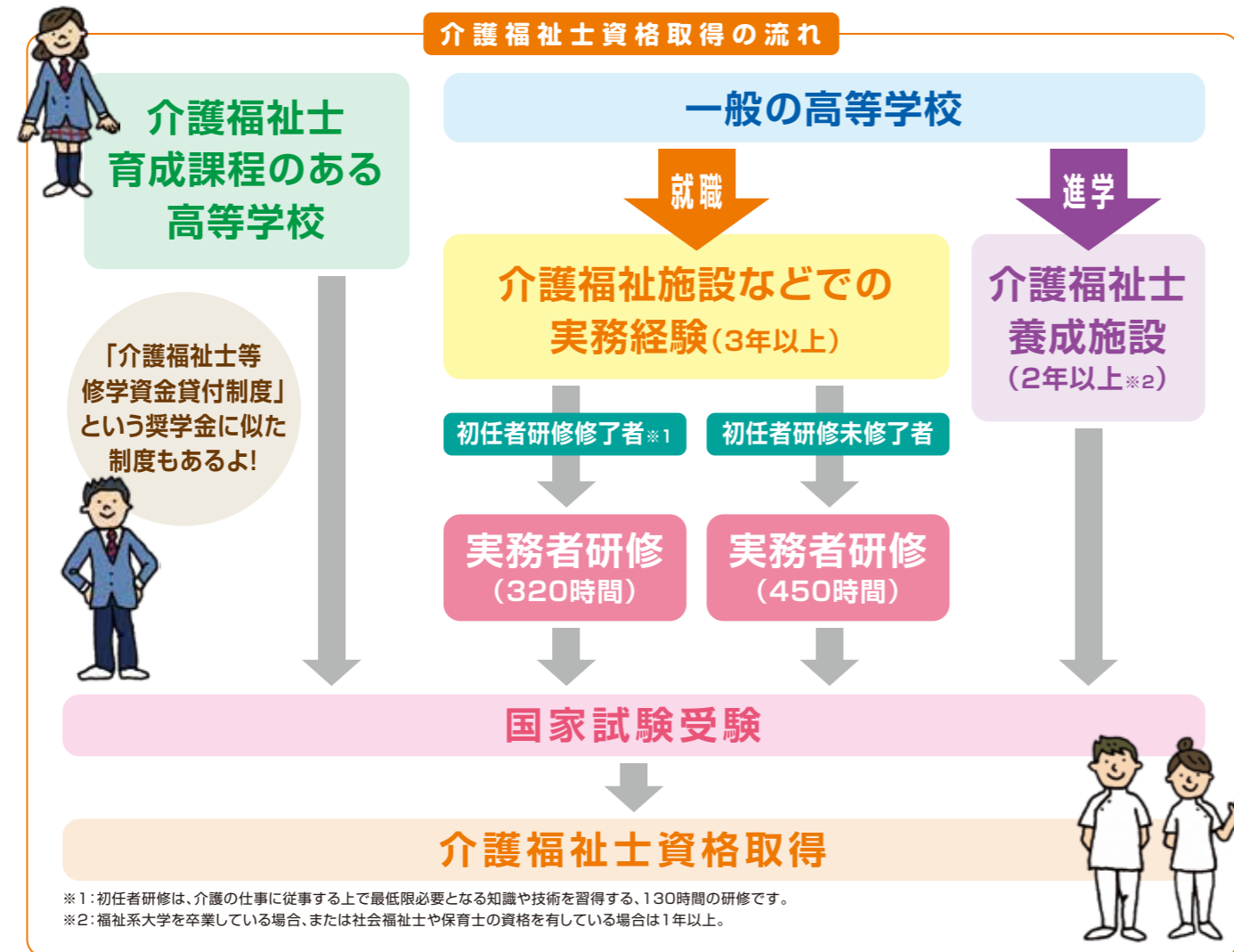
今後はいろいろな介護の研修に出たいと思っています。介護保険の制度や介護技術にも興味はありますが、まずは認知症ケアの研修が一番勉強してみたいと思います。今は同僚が行ってきた研修の内容を教えてもらうことが多いですが、自分で行って直接勉強し、みんなに教えることができるようになりたいと考えています。





介護のプロになるには

介護の現場で、より良い介護サービスを提供するために、資格を持った人を求めています。介護のプロフェッショナルとして必要な資格や、資格取得のための流れを解説します。



学校を卒業し、介護の世界に飛び込んだ
 社会人3年目の先輩に質問してみました。
 年齢の近い先輩の声は参考になるはず!

社会福祉法人 長岡福祉協会 長岡療育園
 松澤ももかさん(悠久崇徳学園 長岡看護福祉専門学校 平成27年度卒業)

Q1. 介護職を目指したきっかけは何ですか?

中学生の時に福祉のボランティアに参加したのがきっかけです。その時は、まだ介護福祉士という職業がどのようなものなのかは分かっていませんでした。でも、施設に行ってお年寄りやレクリエーションをしたり、お茶を飲みながらお話ししたりしたことがとても楽しくて、こういう仕事をしてみたいと思いました。

Q2. 介護職は働きやすいですか?

私が今、働かせていただいている重症心身障害児施設は、医療的なケアを行う場面が多いです。入職したばかりの時は、初めて聞く単語に不安になることもありました。しかし、定期的に勉強会もあり、職場の先輩方も多く、相談ができるので不安なく、仕事ができています。医師、看護師、保育士ともチームで働いているので日々、学ぶことも多く、充実して働いています。

Q3. ズバリ! 介護職は楽しいですか?

日によって辛いこともあります。素直に「楽しいです!」と言えなくすみません。私がこの仕事を「楽しい」と感じる瞬間は、利用者様に笑っていただけた時です。利用者様の元気がなかったり、苦しそうだったりすると心が折れてしまいそうになります。利用者様に「楽しい」「嬉しい」と思ってもらえるような介護をすることに仕事のやりがいを感じます。



新潟県内で介護福祉士を育成する大学・短期大学・専門学校は、現在下記の11校。

日本はますます高齢化が進み、介護職のニーズも高まる一方です。
 ぜひ将来、あなたも介護の分野で自分の力を生かしてみませんか。

名称	所在地	電話番号
北陸福祉保育専門学院	〒940-0034 長岡市福住1-5-25	0258-32-0288
長岡看護福祉専門学校	〒940-2137 長岡市上富岡町1961-21	0258-47-3991
国際こども福祉カレッジ	〒950-8063 新潟市中央区古町通7-935	0120-250-912
上越保健医療福祉専門学校	〒943-0834 上越市西城町1-12-17	025-522-7475
新潟青陵大学	〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939	025-368-7411
新潟青陵大学短期大学部	〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939	025-368-7411
新潟医療福祉カレッジ	〒950-0911 新潟市中央区笹口2-9-41	025-242-3133
長岡こども福祉カレッジ	〒940-0064 長岡市殿町1-1-32	0258-37-2058
新潟医療福祉大学	〒950-3198 新潟市北区島見町1398	025-257-4455
長岡介護福祉専門学校あゆみ	〒940-0034 長岡市福住1-7-21	0258-31-2622
長岡こども医療・介護専門学校	〒940-0047 長岡市弓町1-8-34	0800-000-1600

平成30年5月現在